

2025年度法政大学国際日本学研究所

法政大学国際日本学研究所(HIJAS)は、以下に記す条件を満たす若手研究者から「国際日本学」をめぐる論文を募り、最優秀論文執筆者に研究奨励金を授与するとともに、論文をHIJASの論文誌『国際日本学』に掲載します。

1. 応募資格(a~cのいずれかに該当する者)

- 国際日本学研究所学術研究員・客員学術研究員
- 大学院博士後期課程在籍者及び大学院博士後期課程修了後または満期退学後5年以内の者(所属は問わないが、他大学在籍者は学生証コピー、修了者は履歴書を添付すること)。
- その他、編集委員会が適当と認めた者(この資格で応募する者は、履歴書、投稿論文要旨を2025年11月1日(土)までに郵送し事前審査を受けること)。

2. 応募論文

- テーマは「国際日本学」に関わるもので、未発表のものに限る。
- 日本語で書かれたものに限る。
- 字数は18,000字(40字×30行×15枚)程度とする。(本文、注釈、参考文献、図表を含む。)
- 採用された場合には、400語程度の英文要旨を提出すること。

3. 採用件数

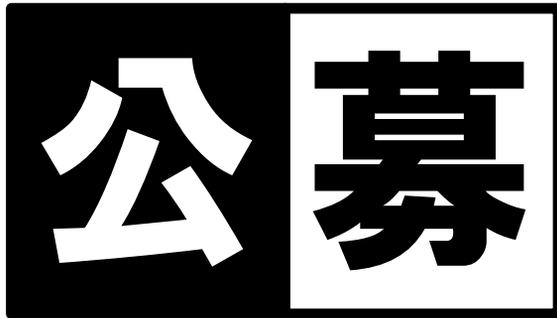
最大3件

4. 提出物

- 論文 プリントアウトしたもの、2部。
- 論文データ CD-R等に保存したもの。

*合否にかかわらず、提出物は返却しない。
*別途表紙に、論文題目・住所・氏名・所属・連絡先(電子メールアドレス、電話番号)を明記してください。

若手研究者研究論文



5. 提出先

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
法政大学国際日本学研究所
*郵送・宅配便での提出のみ受付
*Eメール添付ないし持参不可

6. 提出締切

2025年12月6日(土)当日消印有効

7. 掲載・その他

- 提出された原稿は編集委員会で審査する。
- 法政大学学術機関リポジトリ等で電子公開する予定のため、使用される図表・写真等については、電子公開の許諾も得ること。
- 掲載論文の執筆者には、研究奨励金30,000円を支給する。
- 掲載論文の執筆者には、本誌3冊及び抜刷50部を贈呈する。
- 掲載論文の著作権は本研究所に帰属するものとする。
- 本研究所は本誌掲載論文を電子化して公開する権利を有する。

8. 問い合わせ先

法政大学国際日本学研究所事務局
〒102-8160 千代田区富士見2-17-1
Tel:03-3264-9682
E-mail: nihon@hosei.ac.jp



法政大学
国際日本学研究所

採用された論文は、法政大学国際日本学研究所研究成果報告集『国際日本学』に掲載されています。

<過去8年間の掲載論文例>

	『国際日本学』 掲載号	論文タイトル	氏名
2024年度	第23号	-	*該当者なし
2023年度	第22号	イソップ寓話「蟻と蝉／キリギリス」のパロディにみる風刺の眼差し— <i>The Fables of Aesop and Others Translated into Human Nature</i> . と『絵入教訓近道』の比較を通して—	大島 結生
2022年度	第21号	「黄粱夢」と「南柯夢」——能く邯鄲>における『南柯太守伝』受容の可能性	李 蘇洋
2021年度	第20号	-	*該当者なし
2020年度	第19号	天正本『太平記』卷三十八「政道雑談事」の現実認識—巻三十五以降の考察を通して—	李 章姫
		イングランドのチャップブックと近世日本の絵入り本— <i>The World Turned Upside Down</i> と『無益委記(無題記)』を通して—	大島 結生
2019年度	第18号	藤原貞敏が唐からもたらした琵琶演奏伝承とその背景	根本 千聡
2018年度	第17号	『代表的日本人』について—日本とキリスト教との交わりという視点から—	佐藤 明
		アジア大陸の<帰還した夫>—『ゲセル』と『アルポミシュ』をめぐって	ハルミルザエヴァ・サイダ
2017年度	第16号	平岩弓枝『江戸の娘』における女性像	李 紹楠

『国際日本学』は法政大学学術機関リポジトリにて電子版を公開中です。

https://hosei.ecats-library.jp/da/repository/search/981998999/?lang=0&cate_schema=10000&mode=0